

## 「認知症にやさしい異業種連携共同宣言」賛同企業の募集について

### 1 募集の趣旨

様々な業種・業態の企業が認知症にやさしい異業種連携共同宣言（以下「共同宣言」という。）の趣旨に賛同し、共同宣言に基づく実践を行なうことによって、異業種連携による認知症にやさしいモノやサービスの創出に向けた動きが加速化することを目指す。

### 2 募集対象

次の要件を満たしている企業

- (1) 共同宣言の趣旨に賛同し、宣言の実践に取り組んでいる（取り組む予定である）こと
- (2) 京都府が事業領域として含まれていること
- (3) 主たる事業内容に政治的、宗教的な要素が含まれていないこと
- (4) 事業内容が社会秩序や公序良俗に反するものでないこと

### 3 募集期間

随時募集

### 4 賛同の方法

別添の共同宣言賛同用紙を、ファックスまたは電子メールにより事務局あて送付してください。

■認知症にやさしい異業種連携協議会事務局（京都府健康福祉部高齢者支援課）

〒604-8418

京都府京都市中京区西ノ京東梅尾町6番地 京都府医師会館7階

TEL：075-822-3562 FAX：075-822-3574

Email:houkatu5@pref.kyoto.lg.jp

### 5 賛同企業の活動

(1) 認知症にやさしい異業種連携協議会（以下「協議会」という。）への参画（自由参加）

(2) 共同宣言に基づく取組の実践と発信

共同宣言に基づく取組の実践を目指し、様々な機会を通じて自社の取組を発信してください。また、事務局において、賛同企業の皆様から取組事例を収集し、HPやシンポジウム等で発信しますのでご協力ください。

※賛同企業に対して取組の義務を課すものではありません。賛同企業が主体的で多様な取組を推進し、発信することで、認知症にやさしいモノやサービス創出に向けた動きが広がることを期待します。

※一企業に全ての共同宣言の実践を求めるものではなく、各企業が業種・業態などに応じて着手可能な宣言を選択し、実践をめざすことで、賛同企業全体で共同宣言の実現を目指します。

※共同宣言の中で、「多様な認知症の方の声を聞きます」については、全賛同企業において、実践することを推奨します。

### (3) 共同宣言の普及

様々な機会を通じて、共同宣言についてご紹介いただくなど、共同宣言の普及にご協力ください。

### (4) その他

- ・賛同企業としての活動の推進を図るため、社内における推進体制の確立を推奨します。
- ・他の業種・業態の企業との間で、認知症にやさしいモノやサービスに関する対話の機会を積極的に持つことを推奨します。

## 6 共同宣言のロゴマークについて

各賛同企業が名刺などへの印刷、ロゴ入りグッズ作成に利用していただくなど、共同宣言の広報や共同宣言の実践の発信のためにご利用ください。



認知症に  
やさしい  
異業種連携  
共同宣言

認知症にやさしい異業種連携共同宣言

多様な認知症の方々の声を聴きます

1. 認知症を知ることからはじめます
2. 認知症の方一人ひとりの想いの実現に向けて行動します
3. 医療・介護のよりよい利用を支えます
4. 認知症になっても社会の担い手として活躍することを応援します
5. 認知症になっても楽しめるエンターテインメントを届けます
6. 若年性認知症の方への新たなサービスを創出します
7. 認知症の方を支える人たちを応援します
8. 様々なツールを活用し、役立つ情報を届けます
9. 認知機能の低下に備える社会づくりに貢献します
10. 業種を超えて連携します

上記の共同宣言に賛同します。

令和 年 月 日

(企業名)

(担当者) 所属:

氏名:

連絡先:

(メールアドレス)

(電話番号)

(別紙：募集対象要件の確認)

基準事項	
(1) 共同宣言の趣旨に賛同し、宣言の実践に取り組んでいる（取り組む予定である）こと	(共同宣言に基づく取組内容) 該当する共同宣言番号：
	取組（予定）内容
(2) 京都府が事業領域として含まれていること	(府内の対象領域) 【例：府内全域、京都市〇〇区、△△市 等】
(3) 主たる事業内容に政治的、宗教的な要素が含まれていないこと	【当てはまる場合（ ）に○を記入】 政治的、宗教的な要素は含まれない。 ( )
(4) 事業内容が社会秩序や公序良俗に反するものでないこと	【当てはまる場合（ ）に○を記入】 社会秩序や公序良俗に反する事業内容ではない。 ( )



認知症に  
やさしい  
異業種連携  
共同宣言

認知症にやさしい異業種連携共同宣言

多様な認知症の方々の声を聴きます

1. 認知症を知ることからはじめます
2. 認知症の方一人ひとりの想いの実現に向けて行動します
3. 医療・介護のよりよい利用を支えます
4. 認知症になっても社会の担い手として活躍することを応援します
5. 認知症になっても楽しめるエンターテインメントを届けます
6. 若年性認知症の方への新たなサービスを創出します
7. 認知症の方を支える人たちを応援します
8. 様々なツールを活用し、役立つ情報を届けます
9. 認知機能の低下に備える社会づくりに貢献します
10. 業種を超えて連携します

上記の共同宣言に賛同します。

令和6年9月28日

(企業名) ○○株式会社

(担当者) 所属:○○部■■■課

氏名:○○ ○○

連絡先:

(メールアドレス) ○○@○○○○○

(電話番号) 075-○○○-○○○○○

(別紙：募集対象要件の確認)

基準事項	
(1) 共同宣言の趣旨に賛同し、宣言の実践に取り組んでいる（取り組む予定である）こと	(共同宣言に基づく取組内容) 該当する宣言番号：8.様々なツールを活用し、 役立つ情報を届けます
	取組（予定）内容  働く意欲がある若年性認知症の当事者に対し、若年性認知症支援コーディネーターと協働して、本人の能力・特性を生かした活動によって対価を得る社会参加の場を創出し、その活動を支援する。
(2) 京都府が事業領域として含まれていること	(府内の対象領域) 【例：府内全域、京都市〇〇区、△△市 等】  府内全域
(3) 主たる事業内容に政治的、宗教的な要素が含まれていないこと	【当てはまる場合（ ）に〇を記入】 政治的、宗教的な要素は含まれない。  (      ○      )
(4) 事業内容が社会秩序や公序良俗に反するものでないこと	【当てはまる場合（ ）に〇を記入】 社会秩序や公序良俗に反する事業内容ではない。  (      ○      )